

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況(腸管病原菌含)

検出菌 ウイルス	2021年												2022年												
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月 ~6日	3月 ~13日	3月 ~20日	3月 ~27日	4月 ~3日	4月 ~10日	4月 ~17日	4月 ~24日	5月 ~1日	5月 ~8日	5月 ~15日
カンピロバクター	114	65	137	114	169	115	122	85	45	63	84	78	76	34	11	7	12	13	17	19	18	15	6	10	23
病原性大腸菌	39	25	52	61	55	64	63	45	42	102	62	44	29	41	11	12	3	11	9	23	16	14	20	7	17
腸管出血性大腸菌	1	0	0	0	1	2	3	2	0	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サルモネラ	6	5	3	1	5	8	10	23	9	25	7	4	4	3	1	1	3	2	1	2	1	1	3	0	0
黄色ブドウ球菌 MSSA	14	16	33	19	39	25	17	15	20	26	21	12	35	12	6	6	8	5	1	8	7	4	4	5	5
黄色ブドウ球菌 MRSA	10	10	15	25	31	13	14	19	10	18	8	18	19	10	3	4	2	0	5	2	3	9	7	6	4
腸炎ピブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
その他	0	2	1	3	4	4	0	4	5	3	3	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
ロタウイルス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ノロウイルス	4	5	6	11	13	9	0	0	0	0	0	2	4	0	0	1	3	3	0	1	1	0	0	0	0

* () は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。
* その他の1件はアエロモナスでした。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和4年第19週(5月9日~5月15日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	6	結核	6	1	1		1	3		
三類	0	発生なし	0							
四類	6	重症熱性血小板減少症候群	1						1	
		つつが虫病	1				1			
		日本紅斑熱	2	1					1	
		レジオネラ症	2					1	1	
五類	10	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	1				1			
		後天性免疫不全症候群	1					1		
		水痘(入院例)	1							1
		梅毒	7					6	1	
新型インフルエンザ 等感染症	8,631	新型コロナウイルス感染症	8,631	915	537	483	113	4,577	672	1,334

(注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市
西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町
北部…三次市、庄原市

■コメント

1 新型コロナウイルス感染症

第19週に4,577件の報告があり、大きく増加しました。年齢階層別割合は、前週と比較して20歳代と50歳代以上で高くなっています。

誰でも感染するという意識を持ち、マスクの正しい着用、手洗い、ゼロ密、換気などの基本的な対策に加え、出勤者の削減、体調不良時の早期受診、検査の積極的受検などの対策を徹底しましょう。

【参考】PCR検査の実施について(広島県)
<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/269/hiroshimapcrcenter.html>

新型コロナウイルス感染症新規感染者の年齢階層別割合(広島市)



2 梅毒

6件の報告があり、今年の累計は94件と非常に多い状況です。梅毒は性的な接触により感染し、治療せずに放置すると、脳や心臓などに重大な病変を起こすことがあるため、早期発見・早期治療が大切です。

【参考】保健センターの無料・匿名の梅毒検査 <https://www.city.hiroshima.lg.jp/soshiki/72/2986.html>

3 後天性免疫不全症候群

1件の報告があり、今年の累計は3件となりました。感染の可能性のある方や不安をお持ちの方は、早期発見、早期治療、パートナーへの感染防止のため、検査を受けましょう。

【参考】HIV/エイズに関する相談と無料・匿名検査(広島市) <https://www.city.hiroshima.lg.jp/soshiki/72/108883.html>

■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号
小児科	インフルエンザ	-	-	0.23		小児科	流行性耳下腺炎	1	0.04	0.13	
小児科	咽頭結核熱	5	0.21	0.55		眼科	RSウイルス感染症	4	0.17	0.22	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	7	0.29	1.68			急性出血性結膜炎	-	-	0.10	
	感染性胃腸炎	102	4.25	5.42		基幹	流行性角結膜炎	1	0.13	0.25	
	水痘	-	-	0.20			細菌性髄膜炎	-	-	-	
	手足口病	3	0.13	0.71			無菌性髄膜炎	-	-	-	
	伝染性紅斑	-	-	0.11			マイコプラズマ肺炎	-	-	0.03	
	突発性発しん	11	0.46	0.40			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	-	-	0.08			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.31	

急増減 ↑ ↓ 前週と比較しておおむね 1:2以上の増減

増減 ↗ ↘ 前週と比較しておおむね 1:1.5～2の増減

微増減 ↖ ↙ 前週と比較しておおむね 1:1.1～1.5の増減

横ばい ⇐ ⇒ ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

前週(第18週)は、ゴールデンウィークの休診の影響で、報告数が少なくなっている可能性があり、今週(第19週)と適正な比較ができないことから、発生記号は表示していません。

■全数把握感染症報告状況(新型コロナウイルス感染症を除く)

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	3	36	20歳代、70歳代、80歳代
4	レジオネラ症	1	9	70歳代
5	後天性免疫不全症候群	1	3	60歳代・エイズ
5	梅毒	6	94	20歳代・3人、30歳代・1人、40歳代・2人